

# フォトニュース

## 救急アドバイザー誕生！



5月18日、救命講習などをより身近に、気軽に学んでいただくため、救急アドバイザー制度を発足し、アドバイザーとして委嘱された岡村千絵さん、藤川幸恵さんが、自治会開催の救命講習・少人数の出前講座などに参加し、応急手当の普及促進、救急車の適正利用、予防救急の普及啓発などを行う予定です。



5月14日、平成19年度からスタートした、団塊の世代を対象にした農業体験講座「シニアファーマー養成講座」の受講者の有志約30人が、ひまわりの苗や百日草の苗約1600本を、差組地区や県道川西篠山線北野バイパス沿いに植えました。順調に育つと、6月中旬から7月初旬にかけて開花し、来訪者などを迎えることとなります。



6月1日から同5日まで猪名川中学校2年生(223名)を対象とした地域の中で体験学習をする「トライやる・ウィーク」が実施されました。町役場総務課広報担当で活動する生徒たちは、町立図書館、シルバー人材センター、消防本部で活動中の生徒取材し、ホームページの記事を作りました。



町内での交通死亡事故抑止日数が最終発生日から900日を超えたとして、6月9日、県交通安全対策委員会から町に表彰状が授与されました。

町内の死亡事故は、平成18年11月23日以降発生しておらず、現在、県下で1番長い抑止期間となっています。皆さんも、車を運転する際は安全運転を心がけるなど交通ルールを守り、安全で暮らしやすいまちを一緒につくっていきましょう。

## いながわ 歴史ウォーク ⑦

猪名川町史の発行

昭和57年(1982)6月1日、当時の猪名川町役場総務課に「町史編さん担当」が置かれ猪名川町史編集事業が始まりました。7月には分庁舎に「町史編集室」が移転し、資料の調査収集を開始しています。翌58年には村井康彦氏を委員長とする「猪名川町史編集専門委員会」が発足。先行する近隣市史と類似しないよう京都大学系統の諸先生方を迎えました。

まず60年には町制30周年記念として、写真入りコラムや用語解説を付けた「猪名川町歴史年表」を発行。また、資料の紹介や編集の状況を「編集通信いながわ町史」で全16回にわたってお知らせしました。



町史全5巻

最終刊の第4巻が平成5年(1993)に発行され、全5巻の編集発行に心血を注いだ町史編集室長中前磐氏は、その後猪名川町文化財審議委員長を務めるなど町の歴史文化振興に尽力し、平成17年に惜しまれつつ75年の生涯を終えられました。

一画一画、はね、とめ、はらいに気をつけて、丁寧に書き上げました。

上井 茜さん(6年)



一画目の力強さを縦筆のはらいで爽やかに、字形を整えて書けました。

井口 聖菜さん(4年)



白金小学校



「好きなものいっぱい」というテーマで、のびのびと描きました。

柴田 佳亮くん(1年)

春さがしをして、お気に入りの草花の絵をかきました。

井上 聡くん(3年)

